



【アイデア企画】◎知的所有権協会◎

<https://www.facebook.com/アイデア企画-1102471496471372/>

↓この URL からエントリーできます。

<http://www.m-solution.co.jp/main/>

【アイデア企画】は、個人の“アイデア”を有効に活用する為に、令和元年、満を持して、令和元年(2019年)10月1日(火)大安、創設しました。

【アイデア企画】代表: 小山満

1. 【アイデア企画】の定義

【アイデア企画】は、個人・法人を問わず、アイデア・発明、創造されたものを記録して、いち早く産業発展に貢献する為に考案されました。東久邇宮記念会会長・豊澤豊雄氏の「貴方に夢と希望を与え企業の発展に役立つ」に同感して、継承して参りました。経済産業省の前身(通商産業省【通産省】・2001年の中央省庁改編)前から実行しています。今2019年です。20世紀、昭和、21世紀、平成、そして新元号を迎えるにあたり、【アイデア企画】はここに明記します。「工業所有権」は特許庁が所管する特許権、実用新案権、意匠権及び商標権を産業財産権としている。

【記録と記憶】は、【PDF】で保全します。

2. 【アイデア企画】の必要性

現代社会、特に、世界各国においては、個人のアイデアは、著作物という形にして初めて、特許権を、著作権を、万民に、周知出来る手段です。特許権、つまり、工業所有権は、産業発展には必須のアイテムです。万民に平等に与えられた知的財産権です。また、著作権、つまり、自分の頭で創造したアイデア、考案、方法、希望する事項など、色々な手法を使って自由に編集著作したものは、万民に平等に与えられた知的財産です。自分が著作した内容ですので、変更も、更新も、自由です。【アイデア企画】は、特許権、著作権、万民に平等に与えられた知的財産に知的財産権を、何時でも、何処でも、誰でも、つまり、万民に与えられた保全手法、環境を提供します。

3. 【アイデア企画】の経緯と取り組み

3-1. 【アイデア企画】の経緯

【アイデア企画】の実現に向けて、日本全国の個人、企業、団体など、所有している知的財産を実現する為、まずは、周知する活動を始めました。私は1974年(昭和49年)、45年前、7月31日、発明学会、豊澤豊雄氏の課程を修了、【第34150号】、です。以来、一貫して、【豊澤豊雄氏の知的財産保全の考え方・手法】を継承しています。

【アイデア企画】の実現に向けて、知的財産管理技能検定3級対策講座 - 第一回知的財産・著作権 - K.I.T.虎の門大学院知的創造システム専攻 2011年1月 石渡国際特許事務所 弁理士(付記登録済)石渡英房先生 平成23年1月22日～2月12日 全4回受講修了しました。

3-2. 【アイデア企画】の SNS【記録と記憶】

私は、当時の官邸が、【小泉内閣メールマガジン 2001/06/14】を発行した時から、購読し、そして、提案もしてきました。平成 13 年(2001)6 月 17 日、『小泉内閣メールマガジン「ご意見募集」国政に関するご意見、ご要望をお寄せください。』に投稿しました。【テーマ】個人の発明やアイデアを広く積極的に発掘して日本の産業発展に有効に活用しよう！平成 23 年(2011)9 月 20 日、私のメルマガ、【 ネットビジネスを活用した知的財産創造システム提案 】(第17号)に提案しました。

以下は私の提案です。一部下記します。

野田総理大臣殿 大所高所から、これとこれをやります、と発表してください。内容は 下記です。国会議員の皆さん、全員に問いかけます。あなた方一人ひとり、じっくり考えて、今、何が出来ますか。私はこれが出来ると、全員に申告させてください。当然、野田さんも書きます。 以下省略

平成 27 年(2015)3 月 20 日、受託印刷会社の改善提案制度に応募しました。【夢の工場創ろう!!】「夢の扉」TM 平成 27 年(2015)12 月 22 日、私のブログ、アメブロに書きました。

タイトル:「安倍総理大臣殿 提案します。」 テーマ:「一億総活躍社会の実現」

3-3. 【アイデア企画】【GAFA】参加！！

米巨大 IT 企業の【GAFA】Google・Apple・Facebook・Amazon、一億国民総活躍社会ニッポン！日本！世界に示そう！！戦争を知っている世代、戦争を知らない世代、赤ちゃんから団塊の世代の皆さん、今でしょ！！

3-4. 【アイデア企画】 参加！！

自由です。何時でも、どこでも、誰でも、自由です。

4-1. 【アイデア企画】主要な知的財産の一部

A: ラジアンコード

1次元物流コード、2次元コードを理解した上で、AI/IoT を見据えた3次元創造コード、
1990年(H2)9. 6、発明学会(主)読賣新聞(後)オール発明グランプリに応募

B: 自転車エネルギー有効利用システム

慣性を有効活用しているシステムで、業界・業種に応用多数。自転車の平坦時や下り坂の過大なエネルギーを蓄電し、平坦時や上り坂の時、有効に活用します。1993年(H5)発明学会(主)オール発明グランプリに応募、主要メーカーに売り込み、記録有り。

C: ミラー像ミラー

見られている自分が視れるミラー(鏡)で、工場内、運送業、その他、応用、用途多数。

平成13年(2001 年)11月22日登録

発明学会で発表後、美容、法人、行政、防災、防犯、応用開拓中。

FB アルバムで紹介中 URL: <http://bit.ly/2OHHWNG> URL: <http://bit.ly/2vSccJQ>

★上記アイデアをご利用されている皆様、ご利用、ありがとうございます。★

4-2. 【工業所有権】「特許庁」 URL: <https://www.jpo.go.jp/>

4-3. 【文化庁】「著作権」 URL: <http://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/>

4-4. 【著作権】「JASRAC」 URL: <https://www.jasrac.or.jp/smt/>

【アイデア企画】代表 小山 満 2019.10.1 



アイデア文庫 コラム (column)

★「一億国民総活躍社会」TOOL「著作権」★

【 宝山万一の「一億国民総活躍社会」の TOOL「著作権」 】
令和2年（2020年）6月7日

文責：【アイデア企画】代表 小山 満 

一億国民総活躍社会と言ったら、、私も一員です。そうだ、活躍しよう!!!

当主は若い親父でした。

家や地域に災難、危難、国難が有る時、当主の補佐は、祖父、曾祖父がした。
61年前、伊勢湾台風（いせわんたいふう、昭和34年台風第15号）は、1959年（昭和34年）9月26日に潮岬に上陸した。曾祖父、中門（ちゅうもん）のじいや、祖父、中間（なかま）のじいや、共に、当主の親父を補佐した。

今、日本は災難、危難、国難!!!
今、日本の当主の補佐、おーい!! 出てこい!!!

はーい!!! 日本の当主の補佐!! 宝山万ー（たからのやままんいち）、10年前、還暦、今、古希、生まれ変わりました。

「一億国民総活躍社会」と言ったら、「著作権」、でしょ。

発明、考案、意匠、商標は、特許庁に出願します。
特許、実用新案、意匠、商標などの工業所有権は、出願料を払って登録します。
登録しても販売のお手伝いは有りません。

SNSが発達して、ミツルが語れば、ミツルの音声権、ミツルが歌えば、ミツルの歌唱権、ミツルが唄を書いたら、ミツルの音楽権が発生します。文化国家で有れば尊重されます。

公証人役場、郵便局のタイムスタンプなどの第三者の認証有ります。SNSが身近になった昨今、メール（MAIL）、ファイルプロパティ（FILE PROPATY）で、第三者認証が出来ます。

【アイデア企画】代表：小山満（こやま みつる）KOYAMA MITSURU

「一億国民総活躍社会」と言ったら、「著作権」を挙げます。

⇒ファーストペンギン



【2020年（令和2年）5月1日現在（概算値）】＜総人口＞1億2590万人
一人1個のアイデア、著作物、でも、1億2590万個のアイデア、著作物、が得られます。

少子高齢化日本、ニッポン、NIPPON、
「一億国民総活躍社会」のT00Lとして、「著作権」を提案します。

「一億国民総活躍社会の**第一歩**」として、私のアイデアを提案します。

スマホやカメラに、Auto Focus 機能が付いています。誰でも使えます。
カメラ機能に下記機能を付加したアプリを提案します。メモリに記録して、リモートで確認できる時代です。I/O ロボットと組み合わせれば、防犯ユーティリティです。

1. 体温： 生き物、動物、ヒト、宇宙人、、、応用多数
2. 顔： 認証機能、人、防犯、健康チェック、、、応用多数

一億国民総活躍社会の今、平等に付加された貴重な、平等な、権利です。
2020年6月7日、小山満（こやまみつる）は、ここに宣言しました。

ユニバーサルデザイン社会対応（複製 & 貼付けして聴いてください）

⇒ JPテキスト音声読み上げプログラム（copy & paste して聴いてください）

⇒ <http://bit.ly/2MZBe4W>

アイデア文庫 コラム (column)

★「一億国民総活躍社会」T00L「著作権」★

【宝山万一の「一億国民総活躍社会」のT00L「著作権」】

令和2年（2020年）6月7日

文責：【アイデア企画】 代表 小山 満 

【アイデア企画】アイデア創成

ロゴ RGB⇒【夢の扉】

エンブレム EAGLE ⇒ 

創成って??初めて創り上げることだ!! 0 (無し、なし) ⇒ 1 (有り、あり)
創ることだね。一番大好きな数字は、0 (ゼロ)! 1 (ワン)! は知っているが、
使い方が違う。電気って、電源 ON ⇒ “1” 電源 OFF ⇒ “0”

その昔、あのアインシュタインさん、あのボーアさん、居りました。“0”、
“1”って言って目を瞑ったら、あらあら、夢の中へ、、、夢の中、“夢の島”へワ
ープした。アインシュタインさん、ボーアさんがいました。

第五福竜丸展示館 ⇒ <http://bit.ly/2WXSvgX>

⇒ 1945年8月6日、午前8時15分。アメリカ軍のB-29爆撃機「エノラ
・ゲイ」が、広島の上空で、原爆「リトルボーイ」を投下した。原爆は地上約6
00メートルの空中で爆発した。1945年8月9日、長崎へ、、、
” 死の灰!! ”、“ 地獄!! ” アンビリーバブル!!

1945年生まれ、70年後、2015年9月、高齢者、2020年、9月、
後期高齢者。5年後2020年、高齢者、75歳、後期高齢者。

SDGs って知っている? ⇒ SDGs とは「Sustainable Development Goals」の
略。読み方はエスディー・ジー・ズ。日本語では「持続可能な開発目標」と言う。

” 2015年9月”、ニューヨークの国連本部で「国連持続可能な開発サミッ
ト」が開催された。その際「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2
030アジェンダ」=SDGs が採択された。

⇒ SDGs を簡単にいうと? 2016年~2030年までの15年間で世界が
達成すべきゴールを表したものです。17の目標と169のターゲットターゲッ
トで構成されている。5年前、話題になったかな? 15年の期間を掲げて、何人
が知っている?

アイデア文庫フォーマットは、アイデア企画代表 小山満の知的財産である。
2020年12月10日、経済、文化、個人、一億国民、総活躍社会の日本万民に有す
る知的財産と認めます。

宝山万一:アイデア企画研究所 E-mail: ideaplan2020@gmail.com

JPテキスト音声読み上げプログラム <http://bit.ly/2MZBe4W>

2020年:令和2年12月12日創刊

⇒ 企画立案:文責:【アイデア企画】 代表 小山満 

【アイデア企画】★アイデア創成★

親父の本★『生涯の記録』★
『非売品』制作：歴史春秋出版（株）

『親父の本』



『目次』



親父は12月27日生まれ、体が弱かった。どんなことを書くのかな???
生まれたところ、生まれた時、、、



ページ 39



ページ 41

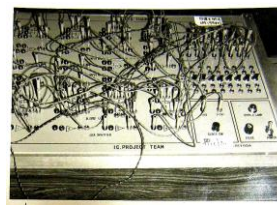
▲日本著作権協議会が結成(1949)

一億国民総活躍社会!!!と言ったら、”著作権”、作家、宝山万一（たからのやままんいち）、著作物、自分が書いた著作物に日付を明記!! 昭和49年（1974年）頃から、社団法人発明学会の所長、豊澤豊雄氏の手法を継承している。

作家、宝山万一（たからのやままんいち）、書きました。著作物、自分が書いた著作物に、日付を明記しましょう!!! 平成2年（1990年）頃から実施している。

宝山万一（たからのやままんいち）の夢、一億国民の夢、一億国民総作家になりましょう!! 国の宝!! 国力!! って一人一人のパワーの蓄積、1, 2, 3、、、一億国民のパワー、集まれば、たった一人のノーベル賞受賞者も超えると信じる。

【記録と記憶】書籍、画像、昭和48年（1973年）千代田学園ハード実習室



【記録と記憶】證書、登録書、1977年東京理科大学特許研究部機関誌 PIS 等



➡ 企画立案:文責:【アイデア企画】 代表 小山満 

アイデア創作文庫★自主出版 8P 本★

★ “スマホ充電ギヤインダイナモ” ★

⇒『Bluetooth (ブルートゥース)』、⇒『Wi-Fi (ワイファイ)』 Wireless Fidelity (ワイヤレス フィデリティ) の略、無線でネットワークに接続する技術。

⇒コアレスモータ社製品 『ギヤインモータ』、『ギヤードモータ』が有ります。

コア (鉄心) レス！ 鉄心が無いモータ！

ヒステリス損失0 コアレスモータ社 ⇒ 0

過電流0 ⇒ コアレスモータ社 ⇒ 目指す!!!!



★ハブダイナモ!!★ 今でしょ!!

クリックしてください。

⇒ <https://youtu.be/rENaNDjOLGk>

応募：平成5年(1993年)8月16日

※記入の際は裏面の注意事項を必ずお読み下さい。不備な応募は失格となります。

発明学会(主) **オール発明グランプリ応募用紙**

氏名(考案)者氏名 コヤマ ミヅル 男 43才 職業 会社員

現住所 千葉県 市 小 山 町 丁目 1 番 1 号

発明学会 会員 特許管理士 有 無 有

発明(考案)の名称 自転車エネルギー有効利用システム (内容をおおむね簡明に記述し、必要に応じて図面を添付すること)

5 図 面(写真も貼ってもよい。着色可。写真の中には文字を書かないこと。ただし引出し線や寸法番号と名前をつけること)(使用図可)

図の説明

- 1図 自転車エネルギー有効利用システム
- 2図 発電機部
- 3図 駆動部
- 4図 制御部
- 5図 充電切替スイッチ
- 6図 充電部
- 7図 放電部
- 8図 充電部と放電部の接続
- 9図 充電部と放電部の接続
- 10図 充電部と放電部の接続
- 11図 充電部と放電部の接続
- 12図 充電部と放電部の接続
- 13図 充電部と放電部の接続

アイデア全

1. 発明・考案の要約(審査員にうったえたいポイントを簡単に書く)

自転車の下り坂、平坦時の過剰な運動エネルギーを蓄電し、上り坂、平坦時にはその蓄えた電気エネルギーを有効に回転エネルギーに変換して利用するシステム。蓄電時は制動が働きブレーキの補助にもなる。

2. 従来技術とその欠点(従来はどうだったか?という欠点があったかを書く。左に図示してもよい)

自転車の下り坂、平坦時の過剰な運動エネルギーはブレーキをかけて捨てていた。過剰な運動エネルギーは捨て余していた。過剰な運動エネルギーは危険である。

3. 発明・考案の構成(従来技術の欠点を除くために、ここをどのように改良した、このような方法を考えた、等をこう考えた、という特長を書く)

自転車機構に自転車エネルギー有効利用システムを追加した。

1図-自転車エネルギー有効利用システムは、追加駆動機構部(A)、追加制御部(B)、追加蓄電部(C)から成る。追加駆動機構部(A)は過剰な運動エネルギーを回収し、追加蓄電部(C)に充電する。追加蓄電部(C)は充電部(2)、放電部(3)、充電部(4)から成る。追加制御部(B)は制御部(5)、充電部(6)、放電部(7)から成る。追加蓄電部(C)は充電部(2)、放電部(3)から成る。追加蓄電部(C)は充電部(2)、放電部(3)から成る。

2図-蓄電部は、充電部(2)の過剰な運動エネルギーを回収し、充電部(4)の充電部(3)で充電し、充電部(3)で充電部(5)に充電する。充電部(3)で充電部(5)に充電する。充電部(3)で充電部(5)に充電する。充電部(3)で充電部(5)に充電する。

3図-充電部は、充電部(2)の過剰な運動エネルギーを回収し、充電部(4)の充電部(3)で充電し、充電部(3)で充電部(5)に充電する。充電部(3)で充電部(5)に充電する。充電部(3)で充電部(5)に充電する。充電部(3)で充電部(5)に充電する。

4図-充電部は、充電部(2)の過剰な運動エネルギーを回収し、充電部(4)の充電部(3)で充電し、充電部(3)で充電部(5)に充電する。充電部(3)で充電部(5)に充電する。充電部(3)で充電部(5)に充電する。充電部(3)で充電部(5)に充電する。

5図-充電部は、充電部(2)の過剰な運動エネルギーを回収し、充電部(4)の充電部(3)で充電し、充電部(3)で充電部(5)に充電する。充電部(3)で充電部(5)に充電する。充電部(3)で充電部(5)に充電する。充電部(3)で充電部(5)に充電する。

6図-充電部は、充電部(2)の過剰な運動エネルギーを回収し、充電部(4)の充電部(3)で充電し、充電部(3)で充電部(5)に充電する。充電部(3)で充電部(5)に充電する。充電部(3)で充電部(5)に充電する。充電部(3)で充電部(5)に充電する。

7図-充電部は、充電部(2)の過剰な運動エネルギーを回収し、充電部(4)の充電部(3)で充電し、充電部(3)で充電部(5)に充電する。充電部(3)で充電部(5)に充電する。充電部(3)で充電部(5)に充電する。充電部(3)で充電部(5)に充電する。

8図-充電部は、充電部(2)の過剰な運動エネルギーを回収し、充電部(4)の充電部(3)で充電し、充電部(3)で充電部(5)に充電する。充電部(3)で充電部(5)に充電する。充電部(3)で充電部(5)に充電する。充電部(3)で充電部(5)に充電する。

9図-充電部は、充電部(2)の過剰な運動エネルギーを回収し、充電部(4)の充電部(3)で充電し、充電部(3)で充電部(5)に充電する。充電部(3)で充電部(5)に充電する。充電部(3)で充電部(5)に充電する。充電部(3)で充電部(5)に充電する。

10図-充電部は、充電部(2)の過剰な運動エネルギーを回収し、充電部(4)の充電部(3)で充電し、充電部(3)で充電部(5)に充電する。充電部(3)で充電部(5)に充電する。充電部(3)で充電部(5)に充電する。充電部(3)で充電部(5)に充電する。

11図-充電部は、充電部(2)の過剰な運動エネルギーを回収し、充電部(4)の充電部(3)で充電し、充電部(3)で充電部(5)に充電する。充電部(3)で充電部(5)に充電する。充電部(3)で充電部(5)に充電する。充電部(3)で充電部(5)に充電する。

12図-充電部は、充電部(2)の過剰な運動エネルギーを回収し、充電部(4)の充電部(3)で充電し、充電部(3)で充電部(5)に充電する。充電部(3)で充電部(5)に充電する。充電部(3)で充電部(5)に充電する。充電部(3)で充電部(5)に充電する。

13図-充電部は、充電部(2)の過剰な運動エネルギーを回収し、充電部(4)の充電部(3)で充電し、充電部(3)で充電部(5)に充電する。充電部(3)で充電部(5)に充電する。充電部(3)で充電部(5)に充電する。充電部(3)で充電部(5)に充電する。

4. 考案の作用・効果

自転車機構に自転車エネルギー有効利用システムを追加し、そのエネルギーを駆動に利用する。自転車の過剰な運動エネルギー(下り坂、平坦時)を蓄電してその蓄電したエネルギーを上り坂、平坦時に自転車の駆動エネルギーとして有効に利用する。下り坂での蓄電動作はブレーキの補助にもなるので蓄電と制動の両方を兼ね、一定の効果を発揮する。

この考案は、運動エネルギーと電気エネルギーの有効な利用の一環で、自転車の駆動に利用した。エネルギー変換の効率が高くなり、エネルギーロスが少なく、応用範囲が広がる。従来の自転車機構に追加した駆動機構に比べて、駆動機構を簡便に構成でき、効果も大きい。

5. 効果

自転車の運転者は下り坂、平坦時の過剰な運動エネルギー(通常はブレーキをかける)と制動した時、制動機構のブレーキを駆動機構に接続し、そのエネルギーを駆動に利用する。この時、エネルギーロスが少なく、エネルギー変換の効率が高くなり、エネルギーロスが少なく、応用範囲が広がる。従来の自転車機構に追加した駆動機構に比べて、駆動機構を簡便に構成でき、効果も大きい。

6. 効果

自転車の運転者は下り坂、平坦時の過剰な運動エネルギー(通常はブレーキをかける)と制動した時、制動機構のブレーキを駆動機構に接続し、そのエネルギーを駆動に利用する。この時、エネルギーロスが少なく、エネルギー変換の効率が高くなり、エネルギーロスが少なく、応用範囲が広がる。従来の自転車機構に追加した駆動機構に比べて、駆動機構を簡便に構成でき、効果も大きい。

7. 効果

自転車の運転者は下り坂、平坦時の過剰な運動エネルギー(通常はブレーキをかける)と制動した時、制動機構のブレーキを駆動機構に接続し、そのエネルギーを駆動に利用する。この時、エネルギーロスが少なく、エネルギー変換の効率が高くなり、エネルギーロスが少なく、応用範囲が広がる。従来の自転車機構に追加した駆動機構に比べて、駆動機構を簡便に構成でき、効果も大きい。

8. 効果

自転車の運転者は下り坂、平坦時の過剰な運動エネルギー(通常はブレーキをかける)と制動した時、制動機構のブレーキを駆動機構に接続し、そのエネルギーを駆動に利用する。この時、エネルギーロスが少なく、エネルギー変換の効率が高くなり、エネルギーロスが少なく、応用範囲が広がる。従来の自転車機構に追加した駆動機構に比べて、駆動機構を簡便に構成でき、効果も大きい。

9. 効果

自転車の運転者は下り坂、平坦時の過剰な運動エネルギー(通常はブレーキをかける)と制動した時、制動機構のブレーキを駆動機構に接続し、そのエネルギーを駆動に利用する。この時、エネルギーロスが少なく、エネルギー変換の効率が高くなり、エネルギーロスが少なく、応用範囲が広がる。従来の自転車機構に追加した駆動機構に比べて、駆動機構を簡便に構成でき、効果も大きい。

10. 効果

自転車の運転者は下り坂、平坦時の過剰な運動エネルギー(通常はブレーキをかける)と制動した時、制動機構のブレーキを駆動機構に接続し、そのエネルギーを駆動に利用する。この時、エネルギーロスが少なく、エネルギー変換の効率が高くなり、エネルギーロスが少なく、応用範囲が広がる。従来の自転車機構に追加した駆動機構に比べて、駆動機構を簡便に構成でき、効果も大きい。

11. 効果

自転車の運転者は下り坂、平坦時の過剰な運動エネルギー(通常はブレーキをかける)と制動した時、制動機構のブレーキを駆動機構に接続し、そのエネルギーを駆動に利用する。この時、エネルギーロスが少なく、エネルギー変換の効率が高くなり、エネルギーロスが少なく、応用範囲が広がる。従来の自転車機構に追加した駆動機構に比べて、駆動機構を簡便に構成でき、効果も大きい。

12. 効果

自転車の運転者は下り坂、平坦時の過剰な運動エネルギー(通常はブレーキをかける)と制動した時、制動機構のブレーキを駆動機構に接続し、そのエネルギーを駆動に利用する。この時、エネルギーロスが少なく、エネルギー変換の効率が高くなり、エネルギーロスが少なく、応用範囲が広がる。従来の自転車機構に追加した駆動機構に比べて、駆動機構を簡便に構成でき、効果も大きい。

13. 効果

自転車の運転者は下り坂、平坦時の過剰な運動エネルギー(通常はブレーキをかける)と制動した時、制動機構のブレーキを駆動機構に接続し、そのエネルギーを駆動に利用する。この時、エネルギーロスが少なく、エネルギー変換の効率が高くなり、エネルギーロスが少なく、応用範囲が広がる。従来の自転車機構に追加した駆動機構に比べて、駆動機構を簡便に構成でき、効果も大きい。

マイクロ技術発見 !!!

製品一覧：ギヤードモータ & 耐熱タイプファンモータ



★ハブダイナモ!!応用例★ 応用例：多数

1. 自転車：12V⇒5V（スマホ充電）
2. 自動二輪車：12V⇒5V（IO充電）
3. ドローン：Motor+Controler セットにする
4. 自動車：
5. 水車：水力発電
6. 風車：風力発電
7. 家電：扇風機
8. Etc

コアレスモータの応用へ

4. 考案の作用・効果
 運転者は制動盤を操作してエネルギーを交換し、そのエネルギーを駆動に利用する。自転車の過大なエネルギー（下り坂、平坦時）を蓄電の操作をして蓄電したエネルギーを上り坂、平坦時に自転車の駆動エネルギーとして有効に利用する。下り坂での蓄電動作はブレーキの補助もするので蓄電と制動の両方を兼ね、一石二鳥の効果がある。
 この考案は、運動エネルギーと電気エネルギーの有効な利用の一例で、自転車の駆動に利用した。エネルギー交換の対象は運動エネルギーと電気エネルギーなので、応用範囲が広がる。現行の駆動機構に追加した駆動機構にしたため、開発コストを軽減し機能が付加でき、効果が大きい。

使い方
 自転車の運転者は下り坂、平坦時の過大なエネルギー（通常はブレーキをかける）と制動した時、制動盤のレバーを充電動作を示す矢印（9）方向に動かす。この時、エネルギー放電部とエネルギー充電部に切替える蓄電池に対して電気エネルギーを供給して蓄電する。
 これとは反対に、上り坂、平坦時には、駆動力が低くなる。この時、制動盤のレバーを駆動（放電）動作を示す矢印（10）方向に動かす。駆動ギヤ部とエネルギー放電部に切替える、蓄電池に蓄電した電気エネルギーを運動エネルギーに変換する。駆動力として有効に利用する。



アイデア文庫フォーマットは、アイデア企画代表 小山満の知的財産である。
 2020年12月10日、経済、文化、個人、一億国民、総活躍社会の日本万民に有する知的財産と認めます。

宝山万一:アイデア企画研究所 [E-mail: ideaplan2020@gmail.com](mailto:ideaplan2020@gmail.com)

JPテキスト音声読み上げプログラム <http://bit.ly/2MZBe4W>

2020年:令和2年12月12日創刊

➡ 企画立案:文責:【アイデア企画】 代表 小山満